



人権教室



12月11日（水）に猪苗代町人権擁護委員の6名の方が来校し、道徳の学習の一環として人権教室が行われました。

1つ目の活動は、「思いやる心」という内容で、講師の方々が演じる3つの場面それぞれについて4グループに分かれて話し合いを行いました。「友達が重いバケツを運んでいる場面」や、「遊んでいたボールが草むらに飛んで行って見つからない場面」、「買ったばかりのゲーム機を友達に貸してほしいと言われた場面」について活発な意見が出され、グループで話し合った結果を発表し、全体で共有しました。

2つ目の「言葉の受け取り方」の講話では、メールなどの文字でのやり取りの際、同じ文章でも感じ方が変わってくるというお話を聞きました。マークや絵文字を入れるだけでも、伝わり方が違うことについて考えることができました。

事後学習で「友達が困っていたら手伝う。」や「自分だけの考えだけではなく、相手の立場を考えて思いやる心をもつことが大切。」などの感想を書いていました。今回の人権教室を通して、「人権」とは「自分らしく生きる権利」ということを学ぶことができた、貴重な機会となりました。

